

平成23年9月28日公表

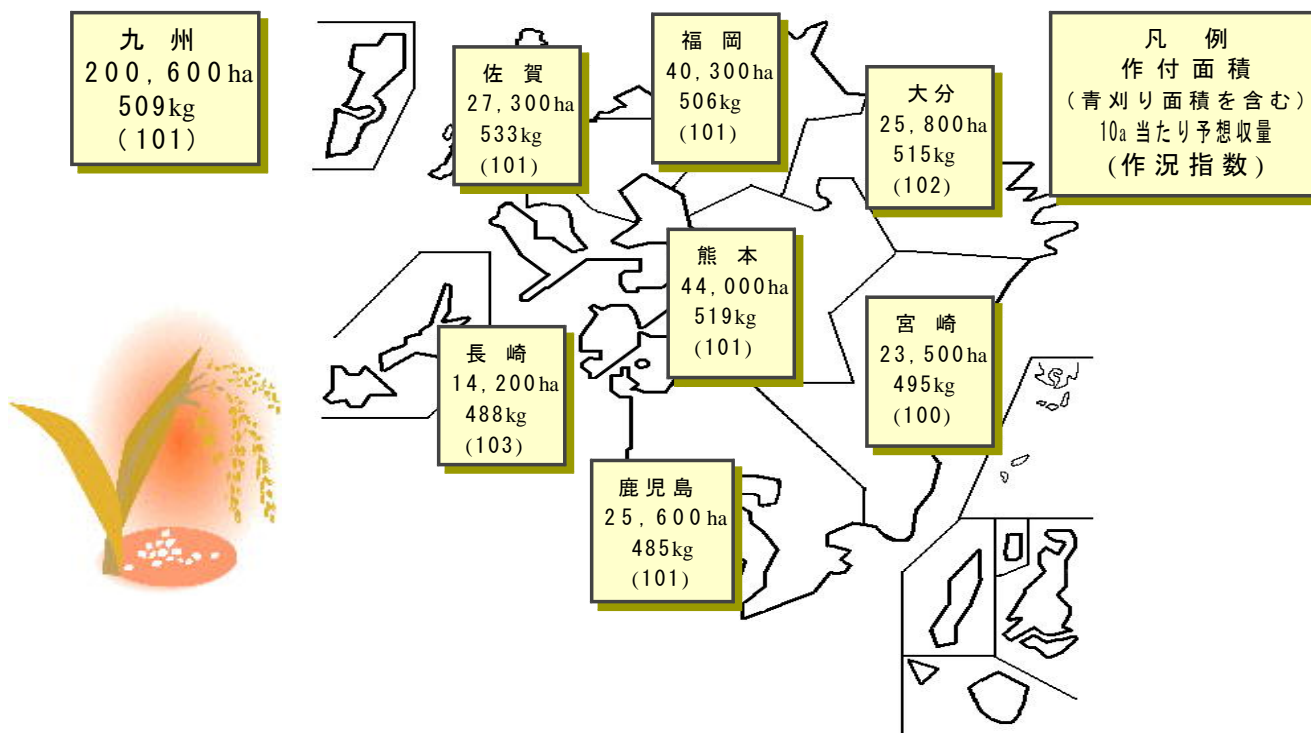
平成23年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（九州）

—— 10a当たり予想収量は509kg（作況指数101）の見込み ——

【調査結果の概要】

- 1 九州における平成23年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は20万600haで、うち、主食用作付見込面積は18万1,300haが見込まれます。
- 2 水稻の作柄は、出穂期以降おおむね天候に恵まれ、登熟は順調に推移していることから、10a当たり予想収量は509kg（作況指数101）が見込まれます。
- 3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、92万1,600tが見込まれます。

図 県別水稻作付面積及び10a 当たり予想収量（9月15日現在）



- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の面積を除いた面積(見込み)です。
- 作況指数とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率です。
- この調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものです。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

本統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html> 】

この統計調査における調査目的、調査対象などは、【調査の概要】P4に掲載しています。

【調査結果】

1 作付面積

水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は20万600haで、前年産並みとなりました。

なお、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は、18万1,300haが見込まれます。

表1 平成23年産水稻の作付面積及び10a当たり予想収量（九州）

区分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり 予想収量 ①	参 考			
	実 数	前 年 産 と の 比 較			主 食 用 作 付 見 込 面 積 ②	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ③=①×②	10 a 当 た り 平 年 収 量 ④	作 況 指 数 ⑤ = ① / ④
		対 差	対 比					
九州計	200,600	△ 100	100	509	181,300	921,600	503	101
福岡	40,300	△ 100	100	506	38,100	192,800	499	101
佐賀	27,300	△ 800	97	533	26,400	140,700	527	101
長崎	14,200	0	100	488	13,700	66,900	476	103
熊本	44,000	500	101	519	37,300	193,600	515	101
大分	25,800	100	100	515	23,400	120,500	503	102
宮崎	23,500	300	101	495	18,800	93,100	497	100
うち早期栽培	9,090	△ 350	96	462	480	96
鹿児島	25,600	0	100	485	23,500	114,000	481	101
うち早期栽培	6,420	△ 20	100	428	441	97

注：1 作付面積及び主食用作付見込面積はラウンドしているため、県ごとの積み上げ値と九州計は一致しない場合があります。

2 予想収穫量（主食用）は県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算とは一致しない場合があります。

2 作柄概況

(1) 早期栽培水稻（主産県：宮崎・鹿児島）

作柄は、宮崎が10a当たり収量462kg（作況指数96）、鹿児島が同428kg（同97）となりました。

これは、7月中旬以降おおむね天候に恵まれ、登熟は良好となったものの、田植期の低温及び出穂前の日照不足の影響から全もみ数が少なかったためです。

(2) 普通栽培水稻

ア 出穂期は、7月上旬の梅雨明け以降おおむね天候に恵まれたものの、8月以降日照不足に推移したことから「平年並み」ないし「3日遅い」となりました。

イ 全もみ数は、福岡、佐賀、長崎、熊本及び宮崎では「平年並み」、大分は「やや多い」鹿児島は「やや少ない」となりました。

ウ 登熟は、出穂期以降おおむね天候に恵まれていることから、福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎及び鹿児島は「平年並み」ないし「やや良」が見込まれます。大分は全もみ数がやや多いことから「やや不良」が見込まれます。

エ このことから、福岡は10a当たり予想収量506kg（作況指数101）、佐賀は533kg（同101）、長崎は488kg（同103）、熊本は519kg（同101）、大分は515kg（同102）、宮崎は519kg（同102）鹿児島は502kg（同102）が見込まれます。

(3) この結果、九州の10a当たり予想収量は509kg（同101）が見込まれます。

3 被害

早期栽培では、3月下旬から4月上旬の低温の影響により穂数が少なかったことと、出穂前の日照不足により全もみ数が少なくなったことから、被害は平年に比べて「やや多い」となりました。

普通栽培では、中山間地域においては、いもち病が散見されるものの、全般的には田植期以降おおむね天候に恵まれ、被害はやや少なくなっています。

表2 平成23年産普通栽培水稻の県別作柄概況（9月15日現在）

区 分	10a当たり (予想) 収量	参 考		出 穂 期					平 年 比 較				刈 取 済 面 積 割 合
		10a当たり 平年収量	作況指数	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		穂 数 の 多 少	一 穂 当 た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否	
							平年 比較	前年 比較					
①	②	③=①/②	月 日	月 日	月 日								%
福 岡	506	499	101	8. 2	8. 24	9. 4	並み	2日遅	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	15
福 岡	487	481	101	7. 21	8. 27	9. 4	並み	1日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	17
北九州・豊前	489	481	102	7. 30	8. 13	9. 1	並み	2日遅	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	40
筑 豊	490	485	101	7. 17	8. 13	8. 29	並み	並み	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	25
北筑後	526	519	101	8. 12	8. 26	9. 5	3日早	1日早	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	1
南筑後	523	517	101	8. 16	8. 29	9. 8	並み	並み	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	0
佐 賀	533	527	101	7. 24	8. 27	9. 10	1日遅	1日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	9
佐 賀	541	536	101	8. 12	8. 30	9. 11	3日遅	2日遅	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み	3
松 浦	498	492	101	7. 17	8. 15	9. 1	1日早	1日早	平年並み	やや少ない	平年並み	やや良	33
長 崎	488	476	103	7. 20	8. 27	9. 5	2日遅	2日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	15
西 彼	482	477	101	8. 16	8. 22	8. 26	1日遅	2日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	良	0
東南部	526	511	103	8. 17	8. 28	9. 5	1日遅	1日遅	やや多い	やや少ない	やや少ない	やや良	1
県 北	463	458	101	7. 17	8. 28	9. 6	2日遅	2日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	平年並み	22
五 島	415	408	102	7. 15	8. 21	8. 28	2日遅	並み	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	29
壱岐・対馬	476	446	107	7. 21	8. 23	9. 5	3日遅	4日遅	平年並み	平年並み	平年並み	良	38
熊 本	519	515	101	7. 13	8. 22	9. 6	1日遅	2日遅	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	7
県 北	533	528	101	8. 20	8. 29	9. 10	2日遅	2日遅	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	0
阿 蘇	505	510	99	8. 1	8. 8	8. 25	1日遅	並み	少ない	多い	やや少ない	平年並み	4
県 南	515	510	101	7. 31	8. 24	9. 8	2日早	1日遅	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	8
天 草	456	437	104	7. 3	7. 13	8. 24	2日遅	並み	少ない	多い	少ない	良	80
大 分	515	503	102	8. 3	8. 27	9. 3	3日遅	3日遅	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	4
北 部	529	517	102	7. 27	8. 31	9. 6	4日遅	4日遅	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	4
湾 岸	512	500	102	8. 5	8. 28	9. 3	2日遅	3日遅	やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み	4
南 部	509	498	102	8. 6	8. 24	9. 1	3日遅	2日遅	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	3
日 田	501	490	102	8. 6	8. 19	8. 25	2日遅	1日遅	やや少ない	多い	多い	やや不良	5
宮 崎	495	497	100
早期栽培計	462	480	96	6. 23	6. 28	7. 3	並み	4日早	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良	100
広域沿海	462	480	96	6. 23	6. 28	7. 3	並み	4日早	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良	100
普通栽培計	519	511	102	8. 19	8. 26	9. 3	1日遅	2日遅	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	0
広域沿海	474	473	100	8. 19	8. 24	9. 3	1日遅	並み	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	0
広域霧島	546	531	103	8. 22	8. 26	9. 4	1日遅	2日遅	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	0
西北山間	494	490	101	8. 3	8. 26	8. 30	3日遅	4日遅	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	0
鹿 児 島	485	481	101
早期栽培計	428	441	97	6. 24	7. 1	7. 10	2日遅	1日遅	少ない	平年並み	少ない	良	100
薩摩半島	423	442	96	6. 26	7. 3	7. 7	3日遅	並み	少ない	平年並み	少ない	良	100
大隅半島	443	451	98	6. 26	6. 30	7. 14	1日遅	並み	少ない	平年並み	少ない	良	100
熊毛・大島	401	414	97	6. 14	6. 25	6. 30	3日遅	2日遅	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	100
普通栽培計	502	493	102	8. 22	8. 28	9. 6	1日遅	1日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	-
薩摩半島	477	475	100	8. 24	8. 28	8. 31	2日遅	1日遅	平年並み	少ない	少ない	やや良	-
出水薩摩	505	493	102	8. 21	8. 27	9. 8	1日遅	1日早	やや多い	やや少ない	やや少ない	やや良	-
伊佐始良	515	512	101	8. 20	8. 28	9. 5	1日遅	1日遅	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	-
大隅半島	489	473	103	8. 21	8. 26	9. 5	1日遅	2日遅	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良	-

注：1 出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日です。

2 宮崎県及び鹿児島県の県平均の「出穂期」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均をとりまとめていないため、「…」で示しています。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲の作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 作柄概況調査：9月15日現在

3 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行いました。

(2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行いました。

4 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：6,026単位区 巡回・見積り：233市町村

(2) 作柄概況調査

作況標本筆調査：1,495筆 作況基準筆調査：152 巡回・見積り：233市町村

5 用語の解説

- 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WC S用稲、わら専用稲を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指します。
- 「穂数の多少」とは、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
- 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。
- 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり穂数等）の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- 「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率です。
- 「10a当たり平年収量」とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

6 利用上の注意

- 9月15日現在における水稲の作柄概況は、各地域の水稲の生育段階に応じて、計測可能な穂数やもみ数等の収量構成要素の実測値をもとに作柄予測を行ったもので、その後の気象が平年並みに推移するものとしています。したがって、今後の気象条件により変動することがあります。
- 表中に用いた記号は以下のとおりです。
 - 「…」：事実不詳又は調査をかくもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
 - 「－」：事実のないもの

【関連リンク】

九州農政局ホームページ>統計情報

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html>

九州農政局ホームページアドレス

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/index.html>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1・2係

電話：(代) 096-211-9111 内線 4943・4944

直通電話： 096-211-9863

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画係

電話：(代) 096-211-9111 内線 4924

直通電話： 096-211-9845